

【中小企業振興円卓会議】
令和2年度専門部会 活動成果報告書

活動名	まつやま みつけふえ 「松山の暮らしやすさ」+「松山の働きやすい企業」を見つけ+カフェ
部会名	就職幸福都市まつやま発信事業部会
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟
代表団体名	公益社団法人 松山法人会
構成メンバー	愛媛県若年者就職支援センター、松山商工会議所、えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	1,857,194 円 (1,500,000円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>1. 学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める優良企業情報を学生に提供 (1) 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」 ⇒: 40社登録: 当会が受託している働き方改革推進支援センター(愛媛労働局)、働き方改革推進プラザ(愛媛県)と連携、情報共有を行い、上位認証、認定取得に向けた取り組みに積極的な企業を選定した。 (2) えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会に協力依頼し、各大学短大からの要請依頼を受ける。 ⇒松山東雲短期大学、聖カタリナ短期大学、愛媛大学理学部より、優良企業Bank企業への会社見学、講師依頼の相談を受けた。</p> <p>2. 働きやすい職場づくり企業への求人プロモーション支援と動画制作 計画変更: 各大学への情報提供ツールとして、「職場の取組み」を取りまとめた動画を提供した。 ⇒動画作成企業: 13社(事前に動画作成のための情報交換会を実施) ⇒配布先: 愛媛大学、松山大学、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学、県立医療大学、今治明德短期大学、聖カタリナ大学、聖カタリナ大学短期大学、県内20高等学校、ビジネス系専門学校2校へ配布 ⇒動画制作企業に対しては、今後の求人活動での動画利用を依頼 ⇒県内の学生(高校生以上)に対して動画に関するアンケートを実施</p>
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、市内の中小企業が自社情報を発信する機会は極端に奪われ、学生にとっても、各大学等の就職担当者にとっても情報を掴むのに苦労する状況であった。 ・新型コロナウイルスの影響により、経営状況は低迷しているものの、根本的な人手不足は解決していないことから、この機会に優秀な人材を確保したいと考えている企業は多くあった。また、「中小零細企業には専門的に求人活動を担当できる人材がない」などの課題や「学生が求めている会社にするためには大変な労力が必要で、すべてを満たすのは難しいので、何かキラリと光るものを創りたい」などのご意見をいただき、臨戸個別のプロモーション支援の必要性を感じた。 ・動画を作成いただいた企業からは、「今後の求人活動に動画を利用し、これをベースに動画を更新していきたい」や「情報交換会を行っていただいたことで他社の取り組みやPR方法が勉強になった」等の意見をいただき、コロナ禍の求人活動の中で当事業が、一つの足掛かりとなった印象を受けた。
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <p>学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくり」を進める優良企業の情報を学生に提供し、松山市の魅力を認知してもらうことにより、学生のライフプランの早期創造と市内企業を学生に知ってもらうことを事業の目的としたい。</p>

【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類(任意様式)
- 収支決算見込書

【中小企業振興円卓会議】
令和2年度専門部会 活動成果報告書

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
松山市補助金	1,500,000 円	1,500,000 円	0 円	
法人会負担	69,669 円	137,194 円	-67,525 円	愛媛県法人会連合会
法人会負担	0 円	220,000 円	-220,000 円	松山法人会
	円	円	円	
合 計	1,569,669 円	1,857,194 円	-287,525 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
人件費	520,800 円	548,100 円	-27,300 円	日給7,000円×261日×1名×0.3(業務按分割合)
人件費	85,000 円	91,007 円	-6,007 円	法定福利費×1名×0.3(業務按分割合)
人件費	14,760 円	6,636 円	8,124 円	通勤手当
旅費	22,200 円	0 円	22,200 円	訪問による車両交通費 (@37*50km*12ヶ月)
報償費	300,000 円	657,600 円	-357,600 円	動画制作及びプロデュース費用 13社分
需用費	270,000 円	259,617 円	10,383 円	チラシ作成、消耗品 SNS広報費20万(松山法人会負担)
使用料及び賃借料	214,212 円	125,399 円	88,813 円	パソコンリース代、事務所費、電話料、郵便料
消費税	142,697 円	168,835 円	-26,138 円	消費税10%
合 計	1,569,669 円	1,857,194 円	-287,525 円	

【中小企業振興円卓会議】
令和2年度専門部会 活動成果報告書

活動名	働き方改革・職場環境改善セミナー事業
部会名	人育ち応援部会
部会長・副部会長名	部会長：中 周作
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
事業期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	1,508,692円 (1,500,000円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p><働き方改革・職場環境改善セミナー> 計6回のセミナーを開催し、中小企業の働き方改革に関する啓発セミナーを行った。参加者は下記の通り。働く環境改善セミナーにおいては、すべての回を通じて新しく参加する企業もあり、広がりを持つ事が出来た。</p> <p>活動成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数が当初目標より伸び悩んだ。同一労働・同一賃金 ・テレワークやリモートワークの事例を参考に取り入れた企業：6社 ・参加者の声は別紙、添付書類を参照ください。 <p><テレワーク> 各回20名参加。※登壇者や各テーマ・内容は添付書類参照。 第1回 2020年5月20日(水) 23名申し込み 第2回 5月28日(木) 23名申し込み 第3回 7月9日(木) 7名申し込み 第4回 9月10日(木) 10名申し込み</p> <p><昨年度のセミナー参加者の実践事例報告> 第5回 2021年1月15日(金) 実践事例報告(有)阿部木工・阿部祥太氏/岡田印刷(株)桑波田健氏) 11名申し込み 第6回 2021年3月22日(月) 同一労働同一賃金をテーマ 参加30名(3月22日当日) (社労士：日野啓介氏、越智成悟氏、森孝寛氏アドバイザー。事例報告：岡田印刷(株)桑波田健氏/有)モント・中道昇氏)</p>
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <p>当初は別のセミナーテーマを想定していたが、コロナ禍による否応なしに進む働き方改革のテーマとして「テレワーク」を緊急性の高い必要課題として捉え、内容を変更した。テレワークを導入したい企業はあるものの、実際の導入に至っていないところが多いという実情があり、セミナーで実際の導入事例を学び、悩みを共有しながら解決していく環境は非常に重要だと感じた。セミナー実施の結果、6社がセミナーを参考にしてテレワークやリモートワークを導入したことから、「テレワーク」で働き方改革への取組の後押しにつながる事が分かる。</p>
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、オンラインにより県外・市外の参加者も見られたため、多様な参加者の会合参加を見込む。 ・新型コロナウイルスの情勢次第だが、従来の会場利用した会合の開催も検討し、また可能であればこれまで登壇して頂いた働き方改革先進企業の視察・見学会も行うことを検討する。

【中小企業振興円卓会議】
令和2年度専門部会 収支決算見込書

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
活動費	1,500,000 円	1,500,000 円	0 円	中小企業振興円卓会議 (松山市補助金)
		8,692 円	0 円	愛媛県中小企業家同友会一般財政からの繰入金
合 計	1,500,000 円	1,508,692 円	0 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
人件費	300,000 円	300,000 円	0 円	事務担当者の人件費
事務経費	80,000 円	80,000 円	0 円	事務に係る郵送費、消耗品費、会合諸経費等
報償費	360,000 円	44,092 円	315,908 円	セミナー講師謝金 (講師: @30,000円×6名) セミナー講師交通費 (講師: @30,000円×6名)
会場費	70,000 円	0 円	70,000 円	会場費 (プロジェクター設備、冷暖房費等含む)
通信費	20,000 円	264,600 円	-244,600 円	チラシ等の案内郵送費
印刷製本費	50,000 円	50,000 円	0 円	チラシ、資料印刷費
旅費交通費	120,000 円	0 円	120,000 円	打ち合わせ会合のための交通費等の実費
委託費	500,000 円	770,000 円	-270,000 円	セミナー委託費
合 計	1,500,000 円	1,508,692 円	-8,692 円	

働き方改革・職場環境改善セミナー

【第1回】2020年5月20日(水) 13:30~15:00

講師：サイボウズ株式会社 松山オノアキ 久保正明さん

まっやま働き方改革推進会議緊急アンケート

「テレワークの状況に関するアンケート」の結果から見える現状
テレワーク実施にあたっての運用ガイドライン(ルール)について



当日資料はこちらの
HPからご覧いただけます。

【第2回】2020年5月28日(木) 13:30~

21名の方にオンラインにてご参加いただきました。

事例共有：石田クリーニング株式会社 清本有策さん

内容：「企業のテレワークの取り組み事例発表」

石田クリーニングにとってのコロナでの影響、プラス面とマイナス面のお話から、特にクラウドサービスをつかった業務改善や人事評価システムを、実際にシステム画面共有をしながら具体的に話いただきました。

参加者の皆さんからは、

●生産向上の理由は何か？

●(セミナーに参加していた同社スタッフへの質問)オンラインでのこのスピード感についてどう感じますか？

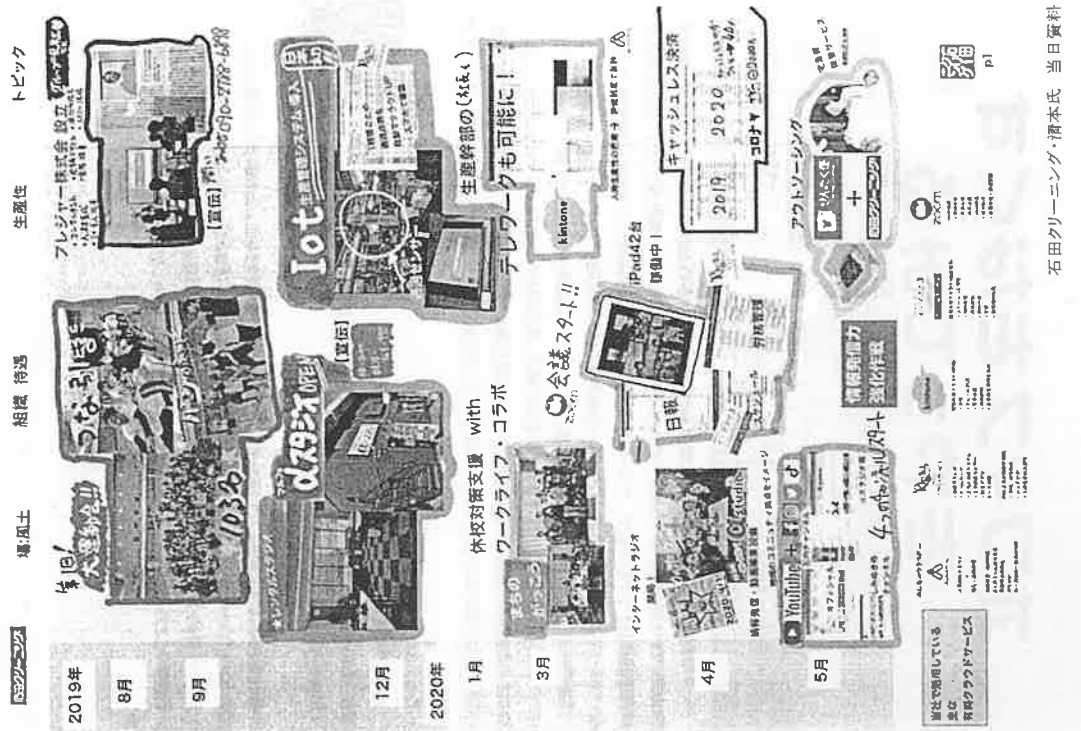
●御社の経営理念を策定されていければ教えてください

●人事評価やクラウドシステム導入によって離職率に変化はありましたか？

●お話をきいていると、以前より人手が必要なくなっている気がしますが、どう思われますか？

●クラウドの使い分けで情報共有されていることに驚きました。テレワークが実施できるのは何人くらいですか？ 幹部だけでいいか？

●システム導入の際のシステムはどのように選んでいるか？ などの質問が活発に上がりました。全体を通して、コロナにより売上は実際には下がっているけれど、残業がなくなり、生産性がアップするという一生涯モノの改革とスキルを得ているのではないかと、というお話にもあったようにピンチをチャンスに変えて、全社的に体力をつけているという印象を強く感じました。



石田クリーニング・清本氏 当日資料

第3回 日時:2020年7月9日(木)13:30~15:00
 内容:コロナ前とコロナ禍のテレワークの事例と変化、現状と課題(企業事例2社)
 ▼タイムスケジュール
 13:30~13:40 あいさつ
 13:40~14:00 企業事例① リアラン株式会社 発表者:越智 舞さん
 14:10~14:30 企業事例② 株式会社日本エイジェント
 14:30~15:00 質疑応答

第4回 2020年9月10日しました。
 コロナ禍を乗り切るために新たなチャレンジを始めた企業2社の事例共有をしました。
 電子黒板を取り扱う株式会社サカワ(本社:愛媛県東温市)の坂和壽忠社長からはコロナ禍を乗り切るために始めた新たなチャレンジについてお話しいただきました。



設立は1919年(大正8年)、創業100年の企業で電子黒板の製造のほか、様々な地域活動に取り組みられています。コロナ対策で2020年2月から始めたリモートワークの導入以外にも時間ができた今だからこそできる新製品づくりなど「今しかできないことを考えて、思い立ったら即実行」を実践されています。

リモートワークについては基本ルール:「社員の信頼の元で行う」「管理は細かくしない」を設けて、色んな工夫の中でうまく運営されているお話を聞きました。



まっやま働き方改革推進会議では事務局を担っている NPO 法人ワークライフ・コロポ(愛媛県松山市)では今年 2020 年 7 月から「オフィスを持たない働き方」を実践しています。もともと同社では在宅勤務はいつでも可能で、グループウェアも 10 年前から利用していました。固定席はつくりたいフリーアドレスを取り入れるなど、様々な働き方を自らが実践してきました。

「事務所がなくてもやっていけるかもしれない」と内部で議論を重ねた上で「新しい働き方にチャレンジしよう」と決断しました。事務所退出までの動き、事務所をなくしてからのコミュニケーションの取り方、就業規則の改定、事務所をもたずして事業を進めていく工夫など、事務所をなくした経験から想うことなど皆さんの働き方改革の参考になれば(お役に立てれば)、とお話させていただきました。



これらの今までの過程を SNS 等で公開しています。
 ぜひ、こちらも合わせてご覧ください。(下記 URL もしくは QR コード参照)
<https://note.com/worcolla>

各社それぞれが工夫をし、テレワークに取り組む事例が聞けました。しかしながら「雑談」をいかに生み出していくか、という課題は残りました。「雑談」は企業活動にとって、とても大事なものです。新しい目的やアイデアを生む「雑談」をいかににつくり、常に新しいものやサービスを生み出していく姿勢が、これからの時代には必要です。これから、皆さんとともに考え続けていきたいと思います。

まつやま働き方改革 推進会議

推進会議について、モデル企業の
紹介

ワークワグ部員紹介 イベントセミナー情報

ニュース

まつやま働き方改革 推進会議

推進会議について、モデル企業の
紹介

ワークワグ部員紹介 イベントセミナー情報

ニュース

◆テーマ：同一労働同一賃金

◆場所：Zoomにてオンライン開催

解説：日野啓介氏 社会保険労務士事務所
同一労働同一賃金の内訳と導入の背景などの解説
企業の事例報告：
岡田印刷株式会社 森田 健 氏
有限会社モンド 中道 昇 氏

アドバイザー：越智成浩 社労士 (社会保険労務士越智事務所/松山市)
森孝寛 社労士 (税理士法人 森税理士事務所/松山市)

▶ お申し込みはこちら

セミナー詳細

◆受講方法◆
オンライン (Zoom) にて開催します。
アクセスURLは、お申込みいただいた方に受講日2日前にメールでお知らせ
します。

◆対象◆
県内中小企業経営者、人事担当者、学生、一般の方も受講可能

◆参加料金◆
無料

◆主催◆
愛媛県中小企業家同友会 まつやま働き方改革推進会議

申し込み

申し込み

TOP > イベント・セミナー情報 > オンライン > 働き方改革 職場環境改善セミナー

EVENT & SEMINAR

<オンライン>働き方改革 職場環境改善 セミナー

2020.5.7

0 ツイート シェア217

2021 日時：3/22 (月) 18:30～21:00

3.22 開催場所：オンライン

(月) テーマ：職場環境改善セミナー 協力：

まつやま働き方改革推進会議では、2020年度も愛媛県中小企業家同友会とタッグを組み、セミナーを実施します。新型コロナウイルス感染拡大が企業活動にも大きな影響を与えており、働き方の変化が否応なしに求められています。働き方改革をテーマに、企業事例より学んでいきます。

▼今後開催予定のセミナー

日時：3月22日 (月) 18時半～21時

<オンライン>職場環境改善セミナー >

申し込み

【中小企業振興円卓会議】
令和2年度専門部会 活動成果報告書

活動名	転居女性の市内のワークシェアリング事業
部会名	人育ち応援部会
部会長・副部会長名	部会長：中 周作
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会
事業期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	500,000円 (500,000円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <p>(1) 市内中小企業によるママネットワーク内でのニーズヒアリング マッチング1件 ・食品製造：地元の共働きの世帯向けに惣菜販売に関する市場調査を行う。主婦層コミュニティを持っている委託企業（株）エルパティオに新商品開発した惣菜について、試食・デモンストレーションを行って、価格帯などの意見などを頂く。 企業側の効果として、新しい屋号・新商品名でチルド宅配サービスを行う運びとなった。さらに今後、新たにECサイト事業も立ち上げられるため、新規事業のリスク回避の効果も含めて今後継続してコンサルティングを受けられる意義は大きい。企業側の声としては「産前産後のママにも売り上げが見込めるのではないかとこの意見も聞かれ、当社が意図しないターゲット層にもマーケティングが出来ることも見込まれるなど、予想外の視点が得られた」。「よく製造者が売り込みたいものや方針に従う『プロダクトアウト』の目線で商品を開発してしまう傾向にあるが、今回は実際に使用している主婦層の消費者目線で『マーケットイン』の考え方で新商品開発が出来たことが当社にとっても良い経験となった」と聞かれている。 また、転居女性側からの声としては「製品化・販売前から商品内容を知ることができることは大変面白く、自分たちが役に立っているやりがいを感じられる。会社に当事者として関わられたことで、新商品を実際に応援もしたくなる」「ヒアリングで互いにママ同士が知り合う機会に恵まれて、知らない土地でご縁が出来るのは良い機会にもなっている」と松山市内で知り合いを増やす効果もあると聞かれます。</p>
課題・提案等	<p>(2) 愛媛県中小企業家同友会の会員企業からのアウトソーシング マッチング1件 ・障がい者福祉・介護：ホームページ制作・運用の得意な女性からアドバイス・コンサルティングを受け、ホームページを開設。スタッフで簡単に更新・運用できるシステムを構築した。 企業側の効果として、「長年会社の課題だったホームページ開設がスムーズに実現できた」と声を聞く。また、企業スタッフに運用・更新の指導をして頂いているので、継続的に活用できるシステムが出来たとのこと。 転居女性側からの声として、「自分のスキルがこんなに役立てられると思わなかったので、とてもうれしい」「知らない土地で自分のスキルを生かせる場を自分だけで探すのは難しいので、今回のマッチングの話は良かった」と聞かれており、生かされていないかった転居女性のスキルが掘り起こされた効果があった。</p> <p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <p>活動成果から分かるように、企業にとってもマッチングは商品やサービスをより良くするために非常に有効な機会だと考えるが、その一方でこのようなニーズヒアリング等のマッチングはなかなか機会がないという実情がある。女性側にとっても、限られた時間と場所で得意なスキルを生かしながら働くことが可能になり、マッチングは双方にとってメリットが大きいと考えており、今後このような機会を活性化させることで企業の生産性向上につながる。</p>
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <p>・市場・ニーズ調査というものは中小企業にとって費用面等で実施が難しく企業活動上の弱点となっているが、来期は「(1) 市内中小企業によるママネットワーク内でのニーズヒアリング」事業の活用により、コロナ禍による消費減退や顧客ニーズの変化に対応した新事業・商品開発へつなげることが、特に期待できるとりくみだと考える。 ・転居女性のスキルを活用することで人材不足を解決するだけでなく、中小企業の弱点でもある広報部門やIT活用と、とりわけ導入した設備・システムを「運用する」という部分で、自社整備の効果を見込めるものとする。 ・企業側はアウトソーシングの準備段階において、業務を細分化して委託業務を切り出すことなどを通じて、自社の整備・業務改善・見直しとしての効果も得られ、コロナ禍において事業見直しが否応なく迫られる中では有意義な効果が得られるものになると考える。</p>

【中小企業振興円卓会議】
令和2年度専門部会 収支決算見込書

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
活動費	500,000 円	500,000 円	0 円	中小企業振興円卓会議 (松山市補助金)
	円	円	0 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
合 計	500,000 円	500,000 円	0 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
委託費	500,000 円	500,000 円	0 円	転居女性のワークシェアリング事業委託費 ・人件費・交通費等の諸経費：500,000円
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
	円	円	0 円	
合 計	500,000 円	500,000 円	0 円	

【中小企業振興円卓会議】
令和2年度専門部会 活動成果報告書

活動名	変えようや松山! 働き方改革先進都市へ
部会名	はたらきかたワクワクプロジェクト
部会長・副部会長名	部会長 堀田真奈
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
構成メンバー	松山商工会議所、ジョブカフェ愛work など
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日
事業費 (うち補助金) ※見込額	1,501,288円 (1,500,000円)
活動成果 (検証結果等)	<p>(今年度の活動成果、次年度への継続が必要な内容等を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆主体的な働き方改革の活動の場として「まつやまワークワク部」を設立し、3年目の活動。 ◆「学びの場」「交流の場」「アウトプットの場」各種イベント・セミナーは予定していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインに切り替え縮小。 ・「オンライン入部説明会(2名)」「オンライン飲み会(4名)」「運動で仕事パフォーマンス上げるプロジェクト(合計3回・のべ31名)」「meetup! For next(20名)」5回実施 ・緊急アンケート調査「テレワークの状況に関するアンケート」4/24~5/17愛媛県内で就業中の男女242名回答 ・そのアンケート結果をもとに、中小企業家同友会との協働企画「オンライン職場環境改善セミナー」を5回実施。 https://matsuyamawork.com/event/969 ◆新しい試みとして、部員を取材し、動画で公開「ワークワク部チャンネル」7名の部員紹介をアップ https://matsuyamawork.com/project-news/976 ◆facebookページフォロワー数：2018年度 252 ⇒ 2019年度 447 ⇒ 2020年度 540
課題・提案等	<p>(活動を通じての課題・提案等を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆一昨年のまつやまワークワク部員は63名、2019年度は43名、2020年度は39名。 ◆新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントがないだろうと更新を見送った方もいれば、部員として活動を見いだせないという方もいた。 ◆新しく試みた「ワークワク部チャンネル」で部員を取材し話を聞くと、それぞれに自身の働き方・組織の働き方・社会の働き方の状況に、言葉に表せないモヤモヤを持っており、そういった思いや考えを聞く機会や場所は必要だと感じた。 ◆「運動で仕事パフォーマンス上げるプロジェクト」では、土佐礼子さんを講師に迎えて、運動を通じて、働くことを考える機会を提供したが、ハイブリッド型での実施はサイボウズさんの協力あり、設営などこちら側にも学ぶ機会となった。&楽しく、働くことを考える機会でない、コミュニティは継続しないと感じた。 ◆次年度は、経営者と若者の間にいる中堅管理職(はさまれ世代)をターゲットに、ゆるやかなコミュニティを持ち、新しいステージにのぞむ。
備考	<p>(今後の方向性等、その他事項を箇条書きで記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆現在はまだ部員自身が主体となって行動をし始める準備をしているといった段階で、働き方改革の情報はほしいと思っているとのことで、モデル企業や、種を時っていくロールモデルの情報を共有していくゆるやかなコミュニティは必要。 ◆次年度は、フェーズ2として、3年間実施した働き方改革コミュニティを、刷新してのぞみたい。

【必要な添付書類】

- 活動記録等参考となる書類(任意様式)
- 収支決算見込書

【中小企業振興円卓会議】
令和2年度専門部会 収支決算見込書

1. 収入の部

区 分	予算現額	決算額 (収入済額)	差引増減額 (予算に対する増減)	摘 要
活動費	1,500,000 円	1,500,000 円	0 円	中小企業振興円卓会議 (松山市補助金)
	円	円	円	
合 計	1,500,000 円	1,500,000 円	0 円	

2. 支出の部

区 分	予算現額	決算額 (支出済額)	差引増減額 (予算残額)	摘 要
賃金	1,356,000 円	1,141,337 円	214,663 円	事務局担当者 1,139,450 労働保険料 1,887
旅費交通費	48,000 円	10,940 円	37,060 円	スタッフ移動費
通信費	36,000 円	13,697 円	22,303 円	携帯電話按分 1,603 インターネット関連按分 2,906 サーバドメイン等按分 9,188
賃借料	60,000 円	49,548 円	10,452 円	複合機按分 20,388 PCLレンタル代 29,160
業務委託費	0 円	271,980 円	-271,980 円	ワークワク部事務局業務4～3月分 270,000 振込手数料 1,980
印刷製本費	0 円	4,529 円	-4,529 円	名刺印刷代 2,805 複合機コピー代 1,724
消耗品費	0 円	9,257 円	-9,257 円	インク、文具、用紙代
合 計	1,500,000 円	1,501,288 円	-1,288 円	